

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・p. 1
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・p. 1
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更の内容	・・・p. 4

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

愛知大学大学院は、令和6（2024）年4月より、下記の3研究科5専攻について、修士課程の入学定員及び収容定員を変更する。

研究科、専攻	修業 年限	変更前		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経済学研究科 経済学専攻（M）	2	15	30	5	10
文学研究科 日本文化専攻（M）	2	10	20	5	10
地域社会システム専攻（M）	2	10	20	5	10
欧米文化専攻（M）	2	10	20	5	10
国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻（M）	2	15	30	5	10

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、大学院教育を取り巻く社会的環境やニーズの変化に対応するため、平成24（2012）年度に、それまで愛知県内の豊橋校舎（豊橋市）と名古屋校舎（みよし市）の2つの校舎に分散していた5研究科（法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、中国研究科、国際コミュニケーション研究科）を車道校舎（名古屋市）へ移転させた。通学時の利便性が高く社会人の就学ニーズにも対応し易い名古屋市内の車道校舎に集約し、本学における大学院教育の拠点とすると共に、学生が他研究科の授業科目を履修できる制度を活用し、研究に幅と広がりを持たせることができる環境を整えた。さらに、平成29（2017）年度には、車道校舎の上記全5研究科を、名古屋駅に近く、5学部が設置された新名古屋校舎へ、新棟完成にあわせて再度移転させ、学部教育との一体化を推進した。同時に、移転の都度、施設・設備面の更新も図ってきた。一方で、名古屋市内に移転したことにより、近隣他大学院と比較され易く、競合する環境ともなった。

そのような中、本学は、令和3（2021）年度に（公財）大学基準協会による認証評価（大学評価）を受審した。その結果、「改善課題」が付され、収容定員に対する在籍学生数比率について、大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められた。同様の指摘は、平成26（2014）年度に受審した認証評価でもなされていた。

一方、学内では、認証評価における指摘に対応するとともに、大学院再編等について、本学の大学院の在り方を再構築するとともに学部教育との連携を図り、本学の研究力向上及び本学の教育・研究ブランドを高めていく必要が求められていた。新型コロナウイルス感染

拡大を受け、大学教育の質的転換が図られていく流れが出てくるとも踏まえ、新たな時代に対応するために、全学的な観点から、「大学院再編等検討委員会」を設置し、大学院の再編とそれに付随する課題について必要な検討を進めた。

このように検討を進めた結果、令和6（2024）年4月より、3研究科5専攻について、修士課程の学生定員を下記のとおり変更することとした。

（１）経済学研究科

経済学研究科経済学専攻（修士課程）は、昭和28（1953）年に設置され、現代の経済社会について広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって解析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の育成及び経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成を目的としている。このような目的を達成するため、経済分析、政策・地域、世界経済の3つのカリキュラムコースを設け、主専攻のコースを中心に体系的・系統的な研究を可能とすると共に、本学経済学部 に基礎を置く研究科として、学部の教育内容を基礎に、両者の教育内容の関連性、適切性を念頭におき、学部教育の展開課程となるよう制度設計をしている。教員組織については、大学院設置基準による必要教員数9名以上に対し17名の教員を配置することで、学生の多様な学びのニーズに対応できるようにしている。他方、教育・研究の面では、学部教育との関連性の観点から、平成25（2013）年度と令和2（2020）年度に経済学研究科のカリキュラムを改定してきた。

学生募集の面では、過去の出願状況を勘案し、平成17（2005）年度には本学学部在学生対象の推薦入試の出願要件である（GPA2.7以上）を（GPA2.5以上）に変更し、令和2（2020）年度には、入学定員を25名から15名に変更した。また、募集広報の面では、本大学院独自の進学相談会を春・秋の年2回開催すると共に、学外で開催される進学相談会にも参加している。また、特に本学学部の在学生に対しては、学内ポータルサイトによる告知も取り入れている。

以上のような取り組みを行ってきたものの、近年5年間の入学定員充足率をみると、平成30（2018）年度は0.00、令和元（2019）年度は0.00、令和2（2020）年度は0.00、令和3（2021）年度は0.07、令和4（2022）年度は0.00であり、低迷している【資料1】。

このような状況に加え、昨今の学部生の卒業時の進路選択傾向や、今後の少子高齢化の影響等を考慮し、入学定員を15名から5名に変更することとした。

（２）文学研究科

文学研究科（修士課程）は、平成3（1991）年に設置され、日本文化専攻、地域社会システム専攻、欧米文化専攻という3つの専攻から構成されている。日本文化専攻では、日本歴史、日本文学、日本語学の研究を中心に、古代から近・現代に至る歴史や文学、日本語・日本文化の諸問題を横断的、総合的、かつ個別的に研究し日本文化の独自性と多面性

について、実証的に研究するとともに、教育機関で活躍できる人材を育成することを目的とする。地域社会システム専攻は、地域社会に関する多様な領域の個別研究の成果と、諸課題に関する学際的連携による研究を踏まえて、地域社会の地理・環境、経済・政治活動、組織・集団関係、地域文化、住民の生活・活動などから構成される地域社会システムについて、その構造と変動過程の解明をめざして多面的な研究を行い、高度な専門的職業人を養成することを目的としている。欧米文化専攻は、アメリカを含む西欧地域の文化について、思想・文学・言語の各分野における研究を行い、欧米文化の歴史とその現状、文化伝播と受容などを総合的に把握し、欧米文化の共通的特質を分析・解明することを目的としている。これらの目的を達成するため、哲学、歴史学、文学、語学、社会学、地理学、公共政策学の各領域において、優れた研究業績を有する教員を配置し、教育・研究を展開してきた。

しかしながら、入学者の確保の面では、ここ数年厳しい状況が続いており、内部進学や国内の他大学からの入学以外にも、留学生や社会人の入学に向けた入試広報等の取組を実施しているが、文学研究科の近年 5 年間の入学定員充足率をみると、平成 30 (2018) 年度は 0.07、令和元 (2019) 年度は 0.13、令和 2 (2020) 年度は 0.00、令和 3 (2021) 年度は 0.03、令和 4 (2022) 年度は 0.17 となっている【資料 1】。

上記の入学者確保の状況に鑑み、入学定員及び収容定員の適正化を図るため、日本文化専攻、地域社会システム専攻及び欧米文化専攻いずれも現行の入学定員 10 名を 5 名に変更することとした。

(3) 国際コミュニケーション研究科

国際コミュニケーション研究科国際コミュニケーション専攻修士課程は、平成 14 (2002) 年に設置され、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材を目的とし、教育・研究活動を行ってきた。

入学者の確保の面では、入学試験制度については、国内入学試験、飛び入学試験に加え、海外に在住する外国人留学生の学習ニーズに対応すべき国外入試試験の実施、また広報活動については、学外関連団体主催の外国人留学生のための大学院進学相談会への参加、本学大学院独自の進学相談会を春・秋の年 2 回実施してきた。

しかしながら、ここ数年入学志願者は大変厳しい状況にあり、近年 5 年間の入学定員充足率をみると、平成 30 (2018) 年度は 0.13、令和元 (2019) 年度は 0.27、令和 2 (2020) 年度は 0.20、令和 3 (2021) 年度は 0.13、令和 4 (2022) 年度は 0.07 である【資料 1】。

以上の現状に加え、今後の少子高齢化の影響や他大学との競合を考慮に入れると、現状の定員を満たせるように入学者数を増やすことは容易ではないとの検討結果から、入学定員を 15 名から 5 名に変更することとした。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更の内容

今回の学則変更に伴い、教育課程、教育方法、履修指導方法の直接的な変更は行わない。ただし、文学研究科日本文化専攻、地域社会システム専攻及び欧米文化専攻については現行カリキュラムの見直しを行い、令和6（2024）年度よりセメスター制を導入することを予定している。教員組織、施設・設備等についても、既存の環境を維持することとする。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

【資料 1】 大学院・専門職大学院入学試験結果推移(2018 年度～2022 年度)

【資料1】

大学院・専門職大学院入学試験結果推移(2018年度～2022年度)【大学基準協会 大学基礎データ様式準拠】

<修士課程>

研究科	専攻	入試の種類	2018年度						2019年度						2020年度						2021年度						2022年度					
			志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B	志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B	志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B	志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B	志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B	志願者	合格者	入学者 (A)	入学定員 (B)	A/B
経済学研究科	経済学専攻	一般・外国人留学生入試	0	0	0		0.00	3	0	0		0.00	3	0	0		0.00	5	1	1		0.07	4	0	0		0.07	4	0	0		0.00
		社会人特別入試	0	0	0	25	0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00
		推薦入試	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00
		専攻合計	0	0	0	25	0.00	3	0	0	25	0.00	3	0	0	25	0.00	5	1	1	15	0.07	4	0	0	15	0.07	4	0	0	15	0.00
経営学研究科	経営学専攻	経済学研究科合計	0	0	0	25	0.00	3	0	0	25	0.00	3	0	0	25	0.00	5	1	1	15	0.07	4	0	0	15	0.07	4	0	0	15	0.00
		一般・外国人留学生入試	7	1	1		0.07	12	4	4		0.27	20	8	7		0.47	14	4	4		0.27	14	4	3		0.27	14	4	3		0.20
		社会人特別入試	6	6	6	15	0.40	1	1	1	15	0.07	2	1	1	15	0.07	2	2	1	15	0.07	8	5	4	15	0.07	8	5	4	15	0.27
		推薦入試	2	2	2		0.13	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	4	4		0.27	1	1	1		0.27	1	1	1		0.07
中国研究科	中国語専攻	専攻合計	15	9	9	15	0.60	13	5	5	15	0.33	22	9	8	15	0.53	20	10	9	15	0.60	23	10	8	15	0.53	23	10	8	15	0.53
		経済学研究科合計	15	9	9	15	0.60	13	5	5	15	0.33	22	9	8	15	0.53	20	10	9	15	0.60	23	10	8	15	0.53	23	10	8	15	0.53
		一般・外国人留学生入試	9	9	7		0.47	7	6	5		0.33	18	10	9		0.60	25	18	17		1.13	17	13	11		1.13	17	13	11		0.73
		社会人特別入試	0	0	0	15	0.00	0	0	0	15	0.00	1	0	0	15	0.00	0	0	0	15	0.00	0	0	0	15	0.00	0	0	0	15	0.00
文学研究科	日本文学専攻	推薦入試	1	1	1		0.07	0	0	0		0.00	2	2	2		0.13	1	1	1		0.07	4	4	4		0.07	4	4	4		0.27
		専攻合計	10	10	8	15	0.53	7	6	5	15	0.33	21	12	11	15	0.73	26	19	18	15	1.20	21	17	15	15	1.00	21	17	15	15	1.00
		中国研究科合計	10	10	8	15	0.53	7	6	5	15	0.33	21	12	11	15	0.73	26	19	18	15	1.20	21	17	15	15	1.00	21	17	15	15	1.00
		一般・外国人留学生入試	2	1	1	10	0.10	6	3	3	10	0.30	1	0	0	10	0.00	4	3	1	10	0.10	1	1	1	10	0.10	1	1	1	10	0.10
文学研究科	国文学専攻	社会人特別入試	1	1	1		0.10	1	1	1		0.10	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	1	0	0		0.00	1	0	0		0.00
		専攻合計	3	2	2	10	0.20	7	4	4	10	0.40	1	0	0	10	0.00	4	3	1	10	0.10	2	1	1	10	0.10	2	1	1	10	0.10
		一般・外国人留学生入試	1	1	0		0.00	0	0	0		0.00	2	0	0		0.00	3	0	0		0.00	4	2	2		0.00	4	2	2		0.20
		社会人特別入試	0	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	1	1	1	10	0.10	1	1	1	10	0.10
文学研究科	国文学専攻	専攻合計	1	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	1	1	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	2	1	1	10	0.10	2	1	1	10	0.10
		文学研究科合計	5	3	2	30	0.07	7	4	4	30	0.13	4	1	0	30	0.00	7	3	1	30	0.03	9	5	5	30	0.17	9	5	5	30	0.17
		一般入試	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	2	1	0		0.00	2	0	0		0.00	2	0	0		0.00
		飛び入学試験	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	1	1	1		0.07	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	外国人留学生入試 (国内受験)	1	0	0		0.00	3	2	2		0.13	7	1	1		0.07	5	2	0		0.00	2	1	1		0.00	2	1	1		0.07
		外国人留学生入試 (国外受験)	1	1	1	15	0.07	2	2	1	15	0.07	0	0	0	15	0.00	0	0	0	15	0.00	3	0	0	15	0.00	3	0	0	15	0.00
		外国協定校留学生入試	0	0	0		0.00	1	1	1		0.07	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00
		社会人特別入試	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00	0	0	0		0.00
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	推薦入試	1	1	1		0.07	0	0	0		0.00	1	1	1		0.07	2	2	2		0.13	0	0	0		0.13	0	0	0		0.00
		専攻合計	3	2	2	15	0.13	6	5	4	15	0.27	9	3	3	15	0.20	9	5	2	15	0.13	7	1	1	15	0.07	7	1	1	15	0.07
		国際コミュニケーション研究科合計	3	2	2	15	0.13	6	5	4	15	0.27	9	3	3	15	0.20	9	5	2	15	0.13	7	1	1	15	0.07	7	1	1	15	0.07
		研究科修士課程総計	33	24	21	100	0.21	36	20	18	100	0.18	59	25	22	90	0.24	67	38	31	90	0.34	64	33	29	90	0.32	64	33	29	90	0.32

「A/B」は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示している。